

令和7年度 第2回川崎市市民健康づくり運動推進懇談会 摘録

1 日時

令和8年3月23日（月）14時～15時

2 場所

川崎市役所復元棟201会議室

3 出欠（◎印：オンライン参加）

（1）出席委員

岡野 敏明 委員◎	高柴 重幸 委員	伊藤 啓 委員◎	堀田 彰恵 委員
須賀 万智 委員◎	志田 達郎 委員	小川 町子 委員	
村山 和枝 委員	清水 豊 委員	長沼 由紀子 委員◎	

（2）欠席委員

北村 恵子 委員 白井 基雄 委員

（3）事務局出席

健康福祉局長	石渡 一城
健康福祉局保健医療政策部 担当理事〔保健政策・保健所長〕	林 露子
健康福祉局保健医療政策部 担当部長〔歯科保健政策〕	半澤 元章
市民文化局市民スポーツ室 担当課長	荻田 恵子
こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 担当課長〔母子保健〕	村山 智子
健康福祉局保健医療政策部保健医療政策課 担当係長	田口 亜紀子
健康福祉局保健医療政策部 担当課長	阪田 敬子
健康福祉局保健医療政策部健康増進課長	大西 哲史
健康福祉局保健医療政策部健康増進課担当係長	並河 あゆみ
健康福祉局保健医療政策部健康増進課主任	北野 葉子
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	前田 恵里
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	谷 草太
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	高岸 悠太朗

（4）事務局欠席

川崎市立看護大学 副学長	荒木田 美香子
健康福祉局保健医療政策部健康増進課 課長補佐	國米 佑宇
教育委員会事務局学校教育部健康教育課 指導主事	安田 幸

4 議事

- (1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」における令和7年度の取組について
- (2) 川崎市健康増進計画の評価指標に対する今後の取組について

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の数

0人

7 配布資料

資料1	「かわさき健康づくり・食育プラン」における令和7年度の取組について
資料2	川崎市健康増進計画の評価指標に対する取組について（身体活動・運動）
資料3	川崎市健康増進計画の評価指標に対する取組について（たばこ）
参考資料	各団体における健康づくりの取組状況
参考資料	健康福祉局作成チラシ一覧
参考資料	健康福祉局作成デジタルサイネージ一覧

局長挨拶趣旨：平均寿命の延伸から健康寿命の延伸に取り組んでいる。企業との連携に注力しているが、中小企業の方の取組が難しいとも聞く。忌憚のない御意見を願います。

8 議事

(1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」における令和7年度の取組について【資料1】

(事務局) 資料1に基づき、取組について説明。

【質疑応答】

(堀田委員) 学校への啓発は、紙での配布か。

(事務局) 紙面による。

(堀田委員) 紙での配布は、実感としてありよいが、タブレットの活用もよいと思う。

(岡野委員) ニコチンパフ、たばこに分類されない電子タバコになる。ニコチンとして吸うスティックのようなもの。若者で広がっていると聞く。日本では発売は禁止されているが、海外からネット等を介して入ってきている。こういった抜け穴の認識について問題提起させていただいた。早い段階での対策が必要と考えるため発言させていただいた。

(事務局) 教育委員会が欠席のため、行政側としての発言は控えさせていただく。

(2) 川崎市健康増進計画の評価指標に対する今後の取組について【資料2】【資料3】

(事務局) 資料2に基づき身体活動・運動の取組について説明。

【意見交換】

(堀田委員) 看護協会でもいばすけっとと接点を持った。打合せが脱線したときに職員への健康づくりの働きかけが課題とのことで、TEKTEKを紹介した。自分たちでできるという事例だけでなく、つなぐということもできるという点で御紹介させていただいた。

- (長沼委員) TEKTEK については、企業に対してどこを媒体として広報を行っているか。また、その PDC について御教示をお願いする。
- (事務局) 企業に対しては、工業団体連合会、工業振興クラブ、労働雇用部と連携し、ハッピーライフ川崎の冊子にチラシを掲載。ロゴフォーム上で企業単位でグループを登録をしてもらうという取組を紹介したところ、30 以上登録が増えた。企業対抗の平均歩数を競うイベントも実施した。なお、協賛企業からの協力としては、金融機関が取引企業に展開などしていただいている。協会健保にも依頼をしている。
- (事務局) 地域産業保健センターでは TEKTEK の普及啓発についていかがでしょうか。
- (清水委員) 意見聴取を求められたときに、リーフレットを配布している。各企業が実際に取り組んだかについては、把握はしていない。
- (事務局) TEKTEK 以外の取組でもお願いする。
- (清水委員) 高津区と定期的に会議を開催している。階段を使いましょう、えがおを見せてといったシールを作成していた。個人的には、大層なものではなく、電子レンジでお弁当を温める間にできる簡単な運動などを紹介していくとよいのではと思う。
- (村山委員) 健康づくりサポーターとしては、家から出ていただくことを第一としている。参加者の様子をみて運動の内容や強度を調整している。集まる方は70代が多い。80代の方が多い時もある。清水委員の御意見にもあったが、数分の短い運動の紹介などもあってもいいと思う。
- (岡野委員) TEKTEK、ある程度のポイントを機能も寄付した。歩くことだけでも社会貢献できるということ紙面で配布しても意味がなく口頭での説明が大事になる。患者さんに毎月会うことにより、通勤、買い物の際は少し遠いスーパーを紹介するなどしたいが、人との触れ合いが希薄になっていることも課題としてある。
- (健康増進課長) 役所が啓発しても市民に届かないこともある。人と人とのつながりが大切との御意見、ごもっともと思う。
- (健康福祉局長) TEKTEK については、今日現在 79,500 人程度の参加者がいる。現状は参加者が親世代に固まっているため、企業向けの取組などを強化していきたい。また、アプリの機能(歩数をグラフ化、ヘルスコネクトと連携)についても活用していきたい。

(事務局) 資料3に基づきたばこの取組について説明。

【意見交換】

- (伊藤委員) 健康づくりに関する動画の作成とあるが、動画を薬局で流すことができると思う。完成したら連絡をいただきたい。
- (高柴委員) 歯っぴーファミリー健診や、乳幼児健診で配布するとよい。
- (事務局) 妊娠期は胎児、乳幼児期は家族と過ごす時間も多いため、妊娠届や乳幼児健診問診票等にも喫煙状況の質問を入れている。今後も個別に応じた保健指導をしていきたいと考える。
- (長沼委員) 職場内での敷地内禁煙に関する広報活動は、一通り実施し終えた印象がある。妊娠中の方をターゲットとすることは、有用と考える。
- (事務局) 職域におけるたばこ対策の最近の動向や相談の多いテーマ等あるか。
- (清水委員) 難しい質問になる。健康診断上では質問事項等なく喫煙による影響は見えにくい。
- (事務局) たばこについては(喫煙者・非喫煙者で)二分化される。引き続きの御協力をお願いする。

4 その他

- (伊藤委員) 動画やサイネージについては、どこかに依頼をすると作成してもらえるのか。こどものオーバードーズ禁止の動画について作成を依頼することは可能か。
- (事務局) 静止画が数枚切り替わるものであれば、協力して作成できると考える。
- (伊藤委員) ぜひ依頼したい。
- (堀田委員) プレコンセプションケアの話が最近話題になっているが、若い世代（学生含む）を対象にした取組を強化するのもよいと思う。
- (事務局) 計画として働き盛り世代に対する働きかけを強めていこうという方針であり、いただいた内容の部分についても積極的に取り組んでいきたい。
- (清水委員) 産業保健センターを紹介するチラシを作成したため、周知に協力をお願いする。
川崎北地域産業保健センターとして今年度の実績報告を作成したため、参考として紹介させていただく。
- (志田委員) PTA での取組は二点になる。まず一つめは、食育の推進、親子で食への関心を高めることを目的として、郷土料理の紹介や食物アレルギーへの理解促進に取り組んだ。
二つめは、TEKTEK に関する発信になる。他区との比較や、ポイントで購入した物品などを広報誌を通じて周知した。健康であることは重要だが、あくまで“手段”であり“目的”ではないと考えている。健康であるからこそ、さまざまな活動といったその先にあることが実現できるという点が大切であると考えている。
- (事務局) 活発な意見にお礼申し上げる。引き続きの御協力をお願いする。

以上